

狭山市国際交流協会

SAYAMA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION



ニュースレター

247号
2020/1

新年あけましておめでとうございます

旧年中は、会員の皆様におかれましては、日本語学習部会、ふれあい部会、杭州市交流部会、統営市交流部会、広報部会、そしてワージントン市交流部会、それぞれの部会活動に対し、ご理解、ご協力を賜わり誠にありがとうございました。

今年、令和2年(2020年)は、皆様が待ちに待った東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。それぞれの方々が様々な関わりを持たれる事でしょう。皆様と一緒に令和の東京五輪を盛り上げたいと思います。

また、市内の日本語学習支援のニーズは過去、類を見ない高まりがあります。SIFAとして、狭山市と協力し合い、このような問題にどう向き合うか共に議論していくことが必要であると考えます。

令和2年、子の年が皆様にとって実り多き年になりますことを心よりご祈念申し上げます。

狭山市国際交流協会 会長 粕谷 充史



統営国際交流協会親善訪問団が来市

11月7日(木)～10日(日)、韓国・統営市の国際交流協会より親善訪問団が来市。団長のキム・ムングン氏を含む9名が狭山市近郊のホストファミリーの家庭でホームステイ体験をされました。7日の歓迎会にはSIFA会員を含む29名が参加、会食を楽しみながら日韓交流の時間を持ちました。

今回の訪問団長であるキム氏は統営国際交流協会の会長でもあります。私たちの歓迎に「統営国際交流協会訪問団が、初めて狭山市へ来たのが1999年で今年は20年目になります。近年の日韓情勢だからこそ、これまで繋げてきた狭山市とのつながりを大切にしていきたい。民間の交流はとても大切



統営国際交流協会親善訪問団歓迎会

です。政府にはできない厚い友情で結ばれた民間外交の力です。私たちは、このホームステイを通じて隣国・日本から隣人としての心遣いを学ぶことができます。人としての親密なふれあいだと信じています」と熱く語っていただきました。

歓迎会の後、団員のみなさんは各ホストファミリーの家庭へ。3泊4日の滞在中は、狭山市長表敬訪問や川越観光（蔵造りの街並み、時の鐘、川越まつり会館、菓子屋横丁などの観光スポット巡り）、各ホストファミリーと過ごす一日、さやま大茶会での茶席体験などたくさんの日本文化に触れて帰国されました。



川越観光 蔵造りの街並みを散策

今回は来市の日程が決まったのが直前であった為、ニュースレターや広報さやまでのホストファミリー募集が間に合わず、統営市交流部会員を中心に、ゲストをお迎えしてのホームステイ体験になりました。日本国内で多くの日韓交流行事が中止となる中、統営市のみなさんと心温まるふれあいができたのは、これまで私たちが築き上げてきた厚い信頼関係の証であると思います。統営市と狭山市の明るい友好関係がこれからも続いていきますように願っています。 統営市交流部会 溝口啓子 記

ワージントン市公式訪問団 Farewell Party

11月10日は朝から快晴、狭山稲荷山公園では例年どおり優雅に「さやま大茶会」が催されました。今年は大茶会が初めて開催されてから30回記念とのことで、米国ワージントン市、中国杭州市、韓国統営市、新潟県津南町からお客様を迎え、賑々しく行われました。特に今回初めて披露された中国式お茶振る舞いは珍しく、日本の茶道との違いには驚かされました。

その夜、6時から米国ワージントン市市長公式訪問団とのFarewell Partyが開かれました。今回のワージントン市代表団は、市長 Scott Holmes さんを始め、妻 Kim さん、市議会議員 Rachael Dorothy さんと夫 Paul さん、ワージントン国際交流協会（WIFA）会長の Ryan Hoover さん、広報広聴課長の Anne Brown さんと夫 William さんの7人でした。狭山市国際交流協会（SIFA）の会員は40人ほどの出席でした。Ryan さんや Anne ご夫妻とは以前にもお会いしているの



兎乃月連のみなさんと一緒に

お久しぶりという思い、 粕谷会長とフーパー会長
また新しい市長ご夫妻や市議会議員ご夫妻とお会いできたのは嬉しいことでした。

パーティーは、粕谷会長の開始の挨拶に始まり、来賓紹介、小谷野市長、Holmes ワージントン市長、Hoover WIFA 会長の挨拶、WIFA 会長によるメンバー紹介、両市のギフト交換を経て、乾杯の後、食事歓談となりました。歓談の間に余興として、狭山市からは人文字で「OHIO」、ワージントン市からも人文字で「SAYAMA」と描き、お互いのエールとしました。パーティーの最後は、

狭山市入間川七夕まつりでの SIFA 連の阿波踊りのビデオを見た後、実際に阿波踊り「兎乃月連」による演舞が披露され、多いに盛り上がりました。しかし、それだけでなく会場にいたすべての人が「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らなそんそん」とばかりに踊りだし「ヤットサー、ヤットヤット」の掛け声で全員が輪になって踊り、心の通う楽しいひと時となりました。最後は粕谷会長による閉会の挨拶があり、心温まる想いでパーティーを終えました。

これからもワージントン市や WIFA との交流は続いていくでしょう。この交流が両市だけでなく、アメリカと日本の友好に寄与する事を祈りながら、再会を期してお別れをいたしました。

広報部会 高橋ブラクソク久美子 記

国際理解教育支援＜広瀬小学校＞

2019年11月21日（木）広瀬小学校から日本語教室の4ヶ国の外国人講師と4人のスタッフが招かれ「3年総合のびのび国際交流」の授業を行いました。3年生3クラスの90人が視聴覚室に行儀よく体育座りで集合しました。

中国の黒澤姉さんが、赤とピンクの刺繍を施した華やかな漢民族の衣装で、中国の音楽に合わせて布をクルクル回しながら登場。子供たちの歓声が響きました。中国の国土は鶏のようなかたちをしている、人口は14億人、4000年の歴史があること、挨拶の言葉などを教わりました。

次に、中国語と日本語の意味の違い等をクイズ形式で学びました。例えば「飯店の意味は？①レストラン②ホテル③喫茶店」という問いには、ハイハイと元気よく手が上がりました。①のレストランが一番人気でしたが、正解は②のホテルでした。

二人目はネパールのリジャル・ロムナトさん。国旗は山を二つ上下に重ねた形で、上の山には月、下の山には太陽が描かれています。実際のお金ルビーも見せてくれました。主な食べ物は豆のカレーとのこと。民族楽器の横長の太鼓を首からかけてリジャルさんが叩くと、大きくきれいな音がしました。



10分間の休憩時間には、自由に中国の二胡やネパールの太鼓を鳴らしたり、外国の服を着たり帽子をかぶったりしてとても楽しそうでした。

休憩後はエチオピアの伊藤イヌエさん、素敵な民族衣装が何から作られているか質問しました。何と蜘蛛の巣の糸から作ったドレスでした。みんなびっくりしていました。コーヒーの語源はエチオピアだそうで、コーヒーセレモニーを実演してくれました。最後にコーヒー豆を希望の子どもたちに食べてもらいました。「苦かった」との感想でした。

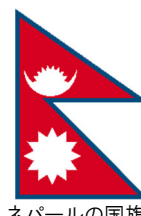
最後はフィリピンの岡村理亜鈴さん、日本から4時間半で行けるフィリピンは島国で、どのくらい島があると思いますかと質問。色々な声が上がりましたが、なんと7,000以上だそうです。学校は給食がなく、お小遣いで昼食を買うそうです。又3月から5月までが夏休みで、6月から新学期。学校では英語で授業をしているそうです。

各国の学習の終わりには、それぞれの国のことばで子どもたちが「ありがとうございました」と元気に挨拶しました。最後にクラスの代表3人から感謝の言葉があり、無事終了しました。

広報部会 小池律子 記



左からフィリピンの岡村さん、ネパールのリジャルさん、エチオピアの伊藤さん、中国の黒澤さん



ネパールの国旗

S I F A国際交流の集いを開催

2019年12月1日、日曜日。天気、晴れ。この日、普段は落ち着いた雰囲気が出る新狭山公民館が熱気に包まれました。狭山市国際交流協会が主催する中で最も大きいイベント「SIFA 国際交流の集い」が行われました。スタッフは何ヶ月も前から料理や出し物などについて話し合いを重ね、前日まで準備に追われていました。

「皆様、おはようございます」粕谷会長の挨拶に続き、総料理責任者の土田さんの料理や餅つきの説明で、来場者の期待感が高まっていくのがわかります。「よいしょー！」の掛け声で年齢・性別・国籍に関係なく、カいっばい餅をついていきます。餅つきは外の駐車場で行われましたが寒さを感じない程の熱気で、つき終わった後に餅を頬張る来場者の顔は自然と笑顔になっていました。

12時になり各国の料理を堪能する時間が来ました。今回はエジプト・トルコ・タイ・ネパール・中国・台湾の料理が振る舞われました。「トルコのサバ・サンドは最高だね！」「このエジプト料理はなんて言うの？」「タピオカ・ミルクティーって不思議な食感」と様々な感想と共に、みなさん楽しんで料理に舌鼓を打っていました。

食後、「これから何が始まるの？」と、来場者は少し戸惑っている



エジプト伝統旋回舞踊タンヌーラダンサー
サイード・アブデルハディ氏と来場者のみなさん

表情にも見えました。するとエジプトの伝統民族舞踊タンヌーラの演舞が始まりました。スカートのような衣装を纏った踊り手がくるくると回って裾を広げて踊るスタイルに「あんなに回転して大丈夫なの？」ほとんどの方がそう思ったことでしょう。それでも回り続けるサイドさんに会場は拍手喝采。白熱のパフォーマンスでした。

あっという間の3時間、「来年も成功させよう！」とスタッフ一同が心に誓いました。

ふれあい部会 嶋崎泰介 記



トートマン・プラー(タイ)、サバ・サンド(トルコ)、蒸餃子(中国)、ハマム・マッシ(エジプト)、ダルカレー(ネパール)、タピオカ・ミルクティー(台湾)

今後のS I F Aイベントのご案内

イベント名	日時	会場	内容
にほんご発表会 *申し込み不要	2月2日(日) 13時30分 ～16時 *受付13時～	中央公民館 第1ホール	日本語教室で学ぶ外国の方々が日頃の学びの成果を日本語で発表します ぜひお聞きください

★問合せ・申込み：狭山市国際交流協会・事務局

(狭山市役所 2F 市民文化課内)

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川 1-23-5

• Tel / Fax : 04-2952-4584

(月・火・木・金 9:00～16:00、水・土・日・祝日は休み)

• E-mail : sifa2@nifty.com

• ホームページ : <http://sifa.information.jp/>

又は、[狭山市国際交流協会](#) ←検索 クリック

編集後記

新年あけましておめでとうございます。2020年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。狭山市にも外国から多くの方々が足を運んでくださることでしょう。SIFAが活発な国際交流の一端を担えるようこれからも情報発信に努めて参ります。 広報部会一同